



復興庁

Reconstruction Agency

つちおと



第85号

令和4年3月24日発行
宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター2F

2/2 道の駅「さんさん南三陸」上棟式 ～新たに震災伝承施設や交通ターミナルが整備されます～

南三陸町の志津川地区被災市街地復興土地区画整理事業で整備された区域にある「さんさん商店街」北側で
工事中の、新たな道の駅「さんさん南三陸」の震災伝承施設等の上棟式が令和4年2月2日に執り行われました。

道の駅「さんさん南三陸」は、平成29年3月3日にオープンした「さんさん商店街」と現在工事中の区域をあわせて道の駅として令和3年3月30日に国に登録されたもので、東日本大震災による被害や各種支援への感謝を伝える震災伝承施設「南三陸311メモリアル」や交通・観光情報発信施設、BRTや高速バスなどの交通ターミナルが新たに整備され、令和4年10月にオープンする予定です。



上棟式に先立ち、関係者の皆さんにより記念撮影が行われました。

～ 南三陸町の道の駅【さんさん南三陸】の上棟式と施設概要 ～

南三陸町が整備を進めている新たな道の駅「さんさん南三陸」の上棟式が執り行われました。

上棟式では強風にもかかわらず、設計を行った建築家の隈研吾氏と施工者の山荘建設によって梁のボルト締めが行われ、佐藤仁南三陸町長がハンマーで叩き確認を行った後、隈氏が梁にサインし、クレーンで約500kgの鉄骨の棟上げを行いました。その後、玉串奉奠等が行われ、上棟よろこびの唄を披露、餅まきが行われ、大勢の方々が集まり祝いました。

「さんさん南三陸」は当初、令和4年4月オープン予定でしたが、コロナの影響で建築資材が不足し、半年遅れる見通しで、フランスを代表する現代美術家で、昨年亡くなられたクリスチャン・ボルタンスキー氏の作品も制作・展示される予定とのことです。



<道の駅「さんさん南三陸」施設概要>

駅舎：鉄骨造一部2階建て

延床面積 約 1,417㎡(新規建築物)

敷地面積 約23,963㎡(さんさん商店街含む)

総工費 約13億円

主な施設 震災伝承施設「南三陸311メモリアル」

・設備 展望デッキ

交通・観光情報発信施設

交通ターミナル(BRT,高速バス,町内バス)

駐車場249台、EV充電施設

トイレ36器、ベビーコーナー

無線LAN等



工事が進む道の駅「さんさん南三陸」の駅舎



「さんさん商店街」「さんさん南三陸」を設計した隈氏

【編集後記】

◆南三陸町震災復興祈念公園に繋がる「中橋」と「さんさん商店街」も隈氏の設計で、土日になると町内外からたくさんのお客さんが訪れ、とても繁盛して駐車場もいっぱいです。

海産物や「オクトパスくん」等、魅力的な商品が揃っており、「キラキラうに丼」などを扱う食堂もあり、今では町の代表的な観光地となっています。

これが道の駅が完成したら駐車場はどうなるのかと心配してましたが、国道を挟んで東側の志津川保育所跡地にも追加で整備されたとのことなので、皆さん安心して是非「さんさん商店街」にお越しください。

宮城復興局 気仙沼支所長 山幸

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>)

→ **宮城復興局**

→ **気仙沼支所だより「つちおと」**

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所

電話 0226-23-5301